



セラミコアパン取扱説明書

ご使用になる前に、この取扱い説明書を必ず最後までお読みください。お読みになった後は、使用される方がいつでも確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。

<安全上のご注意>

<注意>マーク：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりすることが想定される内容を示しています。

・品質には万全を期しておりますが、初めてのご使用の前に必ず下記事項をご確認し、異常がある場合は使用しないでください。

- 1) 持ち手にぐらつき等の異常がない事を確認してください。
- 2) 割れ、破損がないことを確認してください。
- 3) コーティング加工にキズが付いていないかどうか確認してください。

- ・ご使用の際はコンロの中央に置き、火力を中火以下で炎が底面よりも大きくならないように調整してください。IH 調理器等で使用の場合は、中以下の強さでご使用ください。
- ・空焚きは絶対に行わないでください。
- ・過度な予熱は空焚きになりますので、行わないでください。
- ・お子さまで使わせたり、お子さま・幼児の手が届くところで使用したりしないでください。
- ・揚げ物料理など、油を多量に使う料理には使用しないでください。
- ・調理中は絶対に目を離したり、その場を離れたりしないでください。
- ・調理中、調理後は取っ手が熱くなっている場合がありますので、ご注意ください。
- ・調理目的以外に使用しないでください。
- ・お子さまで使わせたり、お子さま・幼児の手が届くところで使用したりしないでください。
- ・調理中及び調理後冷める前のフライパンの高温部分には触れないでください。
- ・持ち手がゆるんできた時はすぐに持ち手の裏側のネジを締めてください。絶対にゆるんだまま使用しないでください。(ネジを締める際、電動ドライバーは使用しないでください。)
- ・改造や加工をしないでください。また、専門家以外は修理しないでください。
- ・コンロ、調理器具はフライパンのサイズに合ったものをご使用ください。
- ・ご使用の際は常に周囲の安全を確認し、安定した場所と設備でのみ使用してください。
- ・噴きこぼれにご注意ください。
- ・電子レンジやオーブンで使用しないでください。
- ・ストーブなどの暖房器具の上では使用しないでください。
- ・液体をフライパンの深さの 8 割以上入れた状態で使用しないでください。
- ・フライパンの底面以外の部分を熱しないでください。
- ・使用中または使用直後の高温の状態のフライパンに、水や水気の多い物を入れないでください。
- ・洗浄またはお手入れは、フライパンが完全に冷めてから行ってください。

＜セラミコアパンの特長＞

- ・従来のフッ素樹脂コーティングより美しく丈夫な硬質セラミックコーティング
- ・熱伝導の良い素材を使用することで、省エネ調理
- ・焦げつきにくく、油少なめでヘルシー調理
- ・表面の滑りが良く、焦げつきにくいから、スムーズな調理でお手入れ楽々
- ・ガスはもちろん、IH 調理器具にも対応

＜取り扱い上のご注意＞

- ・フライパン表面の白いセラミック加工部分はご使用を重ねることで変色していきますが、商品の特性によるものであり、不良ではございませんので、無理に取り除こうとしないでください。
- ・熱回りが良いため、コンロの中央に置いて中火以下でご使用ください。火力が強すぎますと焦げ付きやフライパンの劣化の原因となります。
- ・少量でも油をひいてご使用ください。特に最初のうちはキッチンペーパーなどを使い、調理面の全面に油をまんべんなく塗ってからご使用ください。
- ・初めての使用の前に必ず食器用の洗剤と水でよく洗い、乾燥させたあと、うすく油をひいてよくなじませてからご使用ください。（このとき、クレンザー、研磨剤やたわし等、キズが付く原因となるものは使用しないでください。）
- ・特に表面のセラミックコーティング加工にはキズをつけないように注意してください。
- ・金属製の調理器具の使用は避けてください。フライパンおよびセラミックコーティング加工の劣化を早めます。
- ・尖ったもの、刃物は絶対に使用しないでください。コーティングにキズをつけないよう、調理器具は、角の丸い耐熱樹脂製や木製のものをご使用ください。
- ・やむを得ず金属製の調理器具を使用しなければならない場合は、角の丸いものを使い、なるべくフライパンの表面に触れないようにご使用ください。
- ・絶対に空焚きしないでください。
- ・取っ手などは、使用により劣化して変色、焼けこげ、ふくれ、ひび割れなどが生じることがあります。
- ・取っ手を含む全体を水に浸して丸洗いしないでください。
- ・使用中または使用後の高温の状態で、水につけたり、水を入れたりするなどの急な温度変化は避けてください。
- ・乱暴に取り扱ったり、落としたりするなど、強い衝撃を与えないでください。破損や変形の原因になります。
- ・フライパンに料理の残りや水などをいれたまま放置しないでください。
- ・調理やお手入れの際、強い酸性または強いアルカリ性のものや食品は使用しないでください。
- ・調理目的以外に使用しないでください。
- ・加熱中に「ブー」「ジー」などの雑音（共振音）が聞こえる場合がありますが、商品の不良ではございません。フライパンの位置を変えたり、火力を調整してください。
- ・材料・料理・調理方法など、状況によっては、焦げついたり、こびりつくことがございます。その場合のお手入れでも、表面を強くこすったり、削り取ったりするようなことはしないでください。
- ・家庭用としての使用を目的としております。業務用には使用しないでください。
- ・保管の際は、お子さまの手の届かないところで保管してください。

◆使用可能な調理器具

【ガス・電気コンロ・IH】

※一部機種によっては、ご使用いただけない場合や、フライパンが温まるまでに時間がかかる場合がございます。

<お手入れについて>

- ・本品は丸洗いです。使用後は水またはぬるま湯と食器用の中性洗剤を使用して柔らかいスポンジで洗い、充分すすいだ後に水分を拭き取り、乾燥させてください。
- ・使用後は放置せず、必ず速やかにお手入れを行ってください。焦げ付きや汚れを十分に取らないまま調理をしていると、フライパンの劣化を早めます。
- ・洗浄およびお手入れは、必ずフライパンが冷めてから行ってください。
- ・保管の際は、高温多湿や極端に低温になる場所は避けてください。
- ・クレンザーやたわし、研磨剤または研磨剤つきのスポンジ等、フライパンや表面のコーティングにキズが付く原因となるものは使用しないでください。
- ・焦げ付きを落とす場合は、お湯に浸して焦げ付きを柔らかくしてからスポンジで取り除いてください。ただし、浸したまま長時間放置しないでください。また、取っ手を含む全体を湯や水に浸して丸洗いしないでください。
- ・食器洗浄機や食器乾燥機は使用しないでください。

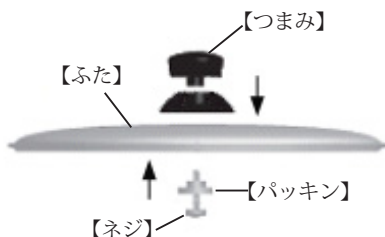
☆ご使用になる前に

ご使用になる前に以下の準備が必要です。＜プラスドライバーが必要です＞

- 1) 梱包をはずし、表面のシールや破損防止用の黒いゴムパーツを全て外す。
- 2) ふたのノブを取り付ける
太い方のネジと半透明のプラスチックパッキンを用意し、ネジをパッキンに通します



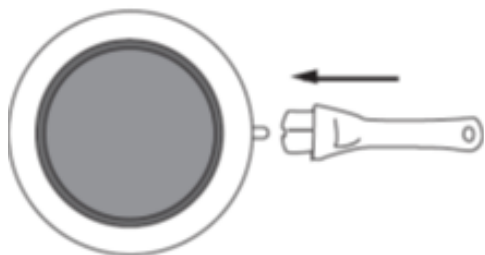
下図のようにしてふたを取り付けます。



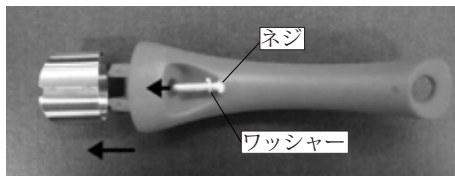
※ネジは2種類ございます。太いネジはふたのノブの取り付けに使用し、細いネジはフライパンの取っ手を付けるために使用します。

3) フライパンのハンドルを取り付けます

細い方のネジに金属のワッシャーを通し、下図のように取り付けます。



＜ハンドル・拡大写真＞



※ネジは必ずしっかりと締め、各部品が固定されている事を確認してからご使用ください。

※小さな部品もございます。予備がございませんので、紛失しないようご注意ください。

※構造上、ふたを洗った際に、ツマミとふたの間に水がたまるがありますが、商品の不良ではございません。保管の際は、必ずふた裏のツマミを固定しているネジを少し緩め、たまった水を抜き、乾燥させてから保管してください。

- ・ふたはガラス製です。落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えた場合、欠けたり、破損したりするおそれがあり、危険です。取扱いの際は強い衝撃を与えないように注意してください。
- ・本品は「セラミコアパン」専用の付属品です。本品以外には使用しないでください。
- ・ふたのお手入れは、キズが付かないよう、水またはぬるま湯と食器用の洗剤を使用して、柔らかいスポンジで洗い、充分すすいだ後に、自然乾燥させて保管してください。食器洗浄機や乾燥機は使用しないでください。
- ・お手入れの際、クレンザーやたわし、研磨剤または研磨剤つきのスポンジ等は使用しないでください。

＜仕様＞

材質：

本体 中心部 / アルミニウム合金、表面加工 / 硬質セラミックコーティング

底面 / ステンレススチール

取っ手 / フェノール樹脂、

ふた ガラス、ふた枠・ステンレススチール

中国製



株式会社 e-chance

〒 140-0013 東京都品川区南大井 3-24-13

Copyright © 2012 e-chance.All Right Reserved